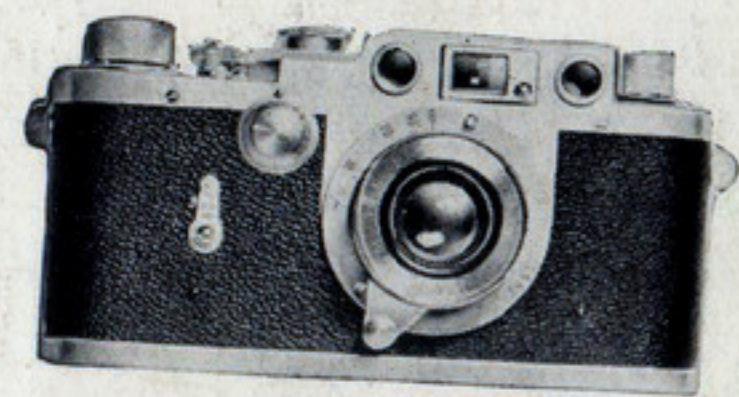




Ocean

天
員
路

家
家
入
丁
利
也

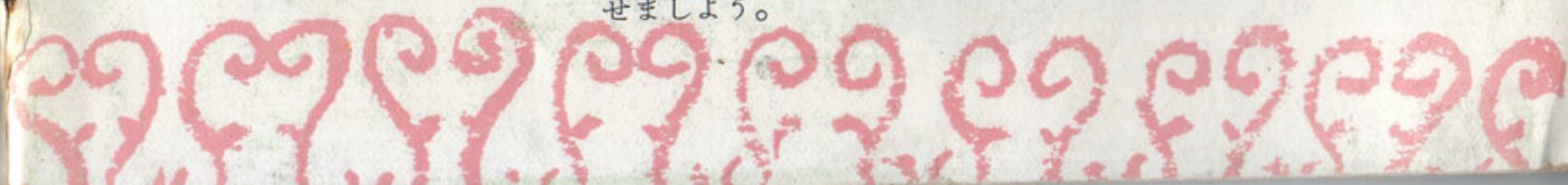


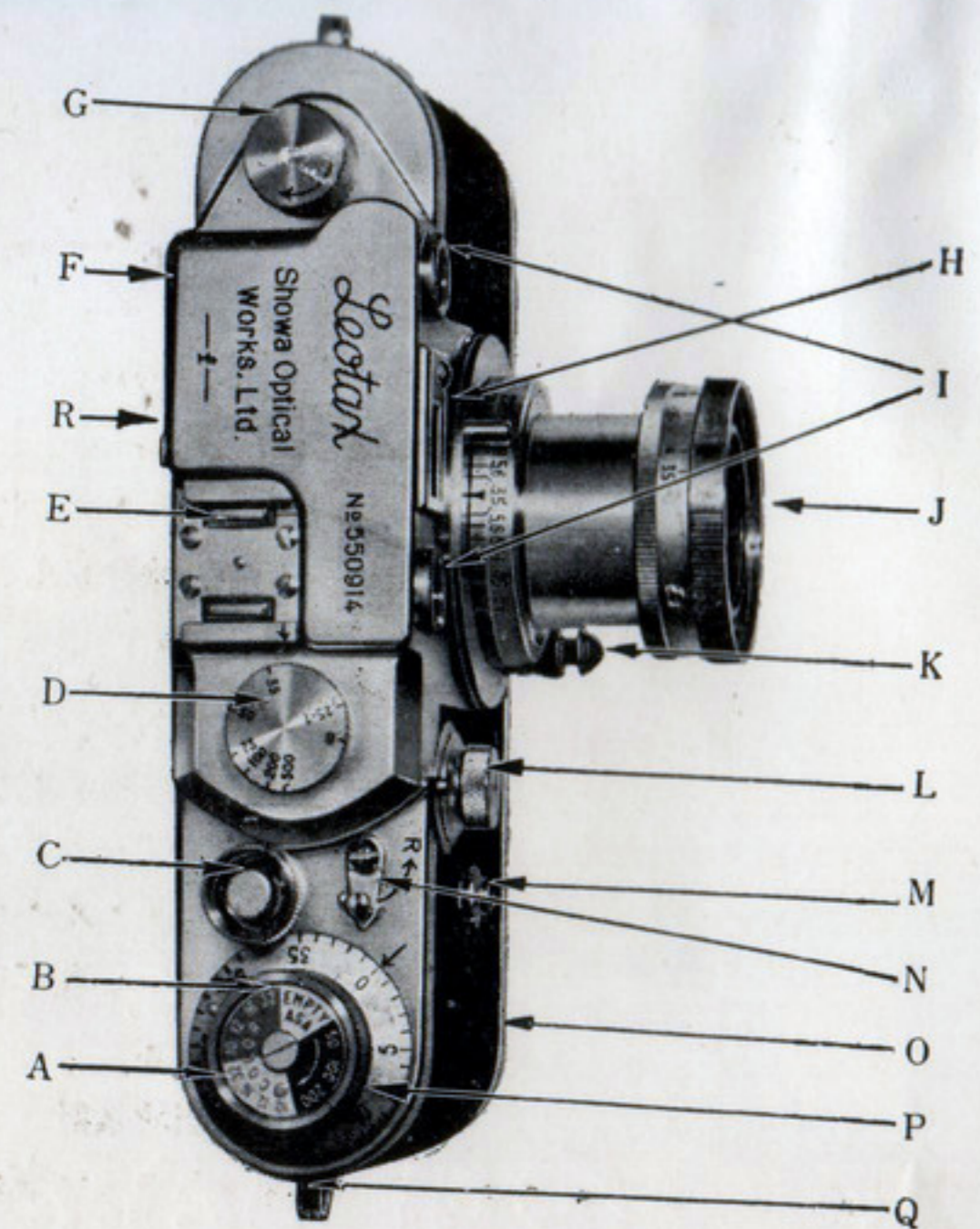
レオタックスカメラ



レオタックスカメラを御選びいただきました事は必ずやあなたの写歴にひとつのエポックを作る事と潜越ながら自負致しております。勿論カメラ自体はその型からの制約や目的からの特質によつて同一条件においては35ミリカメラ、二眼レフレックスカメラ、スプリングカメラ、プレスカメラ等比較は出来ないと思われませんが更に35ミリ小型カメラを考えてみますと軽いこと、小さい事、スピーディーな撮影が出来ること、レンズ交換の可能から広汎な被写体を把えられること等の点が頭に浮びます。

35ミリカメラのメーカーとしてこれらの長所を如何に、調子よく作動させるかに苦しむことは仕事と云うよりむしろ生甲斐と申せましょう。





レオタックスT型各部名稱

- A 捲取ボタン
- B フィルムインチケータ
- C シャッターボタン
- D シャッターダイヤル
(B, 1/25~1/500秒)
- E アクセサリークリップ
- F 距離計及ファインダー接眼レンズ
- G 捲戻しボタン
- H ファインダー対物レンズ
- I 距離計対物レンズ
- J レンズ
- K レンズヘリコイドレバー
- L シャッターダイヤル
(T, 1~1/25秒)
- M ジンクロ X-F 切換レバー
- N フィルム進行切換レバー
- O 底蓋
- P 露出枚数計
- Q ストラップ取付環
- R シンクロターミナル



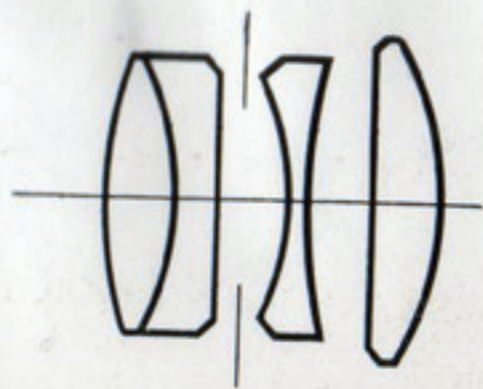


レオタックスの使い方

レオタックス T型はあらゆる被写体に適した精密な小型万能カメラです。最高級品で、かつ廉価ということは仲々両立しないことですが、弊社の永い歴史に依つて生み出された、豊富な経験と、優秀な技術はカメラの中でも殊に高精度を必要とする35mm判レンズ交換可能な連動カメラを生み出しました。高級機ではその機能の優劣は

一に製作技術の良否によつて決定されます。レオタックス始め、弊社の全製品はいつも安心して御使用頂けるものと信じております。レオタックスの諸機能は合理的にあらゆる点が容易に使用出来るようになっております。適切な御取扱いと御手入によつて、永く良き伴侶として御愛用下さる様御願い致します。

LENS



ヘキサ
ー
レンズ構成
包括角度
絞
距離目盛
ヘリコイド型式
鏡枠外径

50mm

F 3.5

4枚(3群)

46度

3.5~22

ft. 3.5~50.~

沈胴型回転式

36φmm

4枚3群構成のレンズで非点収差、球面収差はじめ各収差は極めてよく取除かれて、中心部は勿論、画面周辺部においても優秀な鮮鋭度を保っており、一般撮影はもとより接写などにおいても確実にその性能を発揮いたします。改良アンバーコーテッドと相まって天然色撮影における明快な描写は他に類をみません。



レオタックスT型には、その他ライカマウントのレンズはすべて交換可能で完全に連動致しますから被写体に依つて望遠レンズや広角レンズなどを御使いになり、35ミリカメラとしての本格的な活躍をさせて下さい。弊社では交換レンズとして小西六写真工業株式会社のヘキサ、ヘキサノンの他に東京光学機械株式会社の世界的水準の性能をもつトプコールレンズ群を揃えております。

交換レンズ

- Topcor 35mm F 2.8 広角レンズ
- Topcor 50mm F 1.5 標準レンズ
- Hexanon 50mm F 1.9 /
- Topcor 50mm F 2 /
- Topcor 50mm F 3.5 / (沈胴式)
- Hexar 50mm F 3.5 / (/)
- Topcor 50mm F 3.5 / (固定鏡胴)
- Topcor 90mm F 3.5 長焦点レンズ
- Topcor 135mm F 3.5 望遠レンズ



レンズの手入法

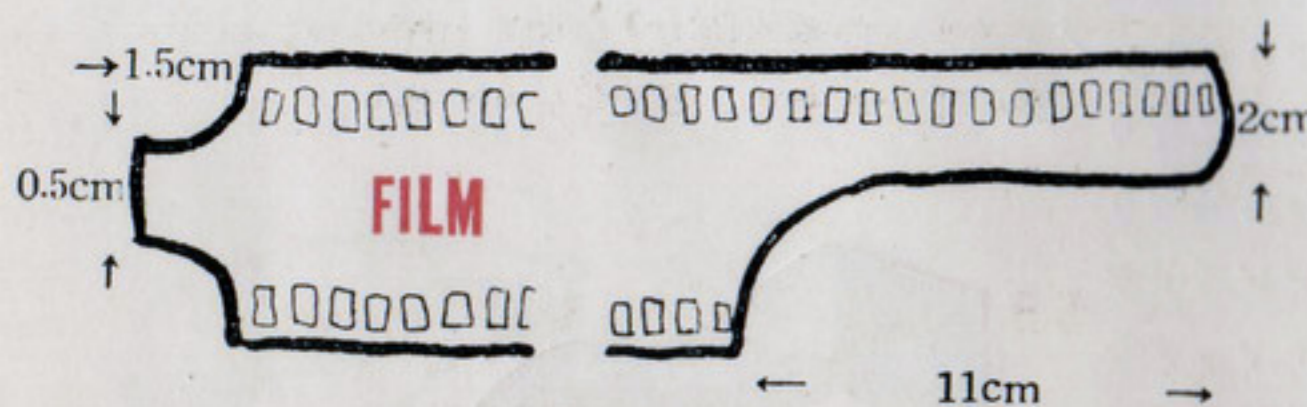


レンズは精巧な構成になっておりますから取扱いに、充分な御注意が必要です。打ちつけたり、落したりすることは絶対にせぬように気をつけて下さい。又湿気や埃はレンズの大敵ですから撮影時以外はレンズキャップをかけて置きます。又常に埃よけの薄いフィルター(UV)をはめる方もありますが、フィルターはレンズの一種ですから、これに埃や傷がついてはなんの効果も無いこととなります。フィルターは感色性を整える為のもので、それ以外には使用されない方がよいと思います。

一刻の楽しい撮影が済みましたらレンズを充分御手入れになることです。これにはよく洗って脂気と石鹼分を除いた晒木綿の布か、レンズ刷毛を使用致しす。

先ず表面の埃を払い落とし、次に割箸の様な細い木の棒の先に晒木綿を巻きつけて、レンズの周辺から中心に向けて渦巻型に清拭します。その際市販のレンズクリナー、又はアルコール3,エーテル7,の混合液(湿度等の変化によつて比率は多少変わります)等をお使いになると一層便利で綺麗になります。最初馴れないうちは拭きむらが残りますからその点御留意下さい。レンズキャップの内面も良くごみを払い、キャップを冠せて乾燥した所に置きます。又梅雨期のような湿気が多い時は速写ケースからカメラを外し、別にしておくことです。ケースは湿気を呼び易く黴の生え易いものですから別に皮革製品としての御手入れが必要です。

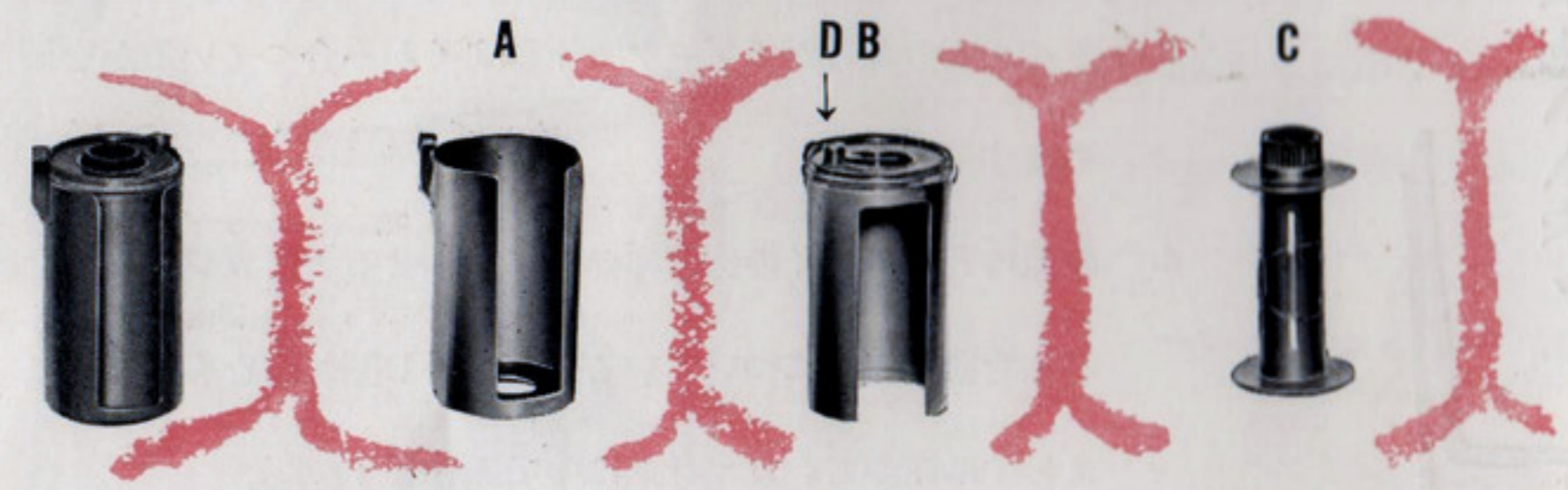




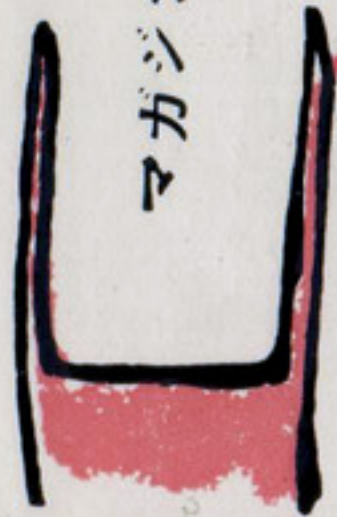
フィルムは35ミリフィルムを用います。これはパトローネ入と缶入のものがありますから、パトローネ入はそのまま御使い下さい。缶入のものは暗室で付属のマガジンへ装入して御使い下さい。マガジンへフィルムを装填する際通常フィルムは図の様に切つてありますが御自分でお切りになる時は、マガジンに装入する際左端を装入后右端を図の様に切つて下さい。

MAGAZINE

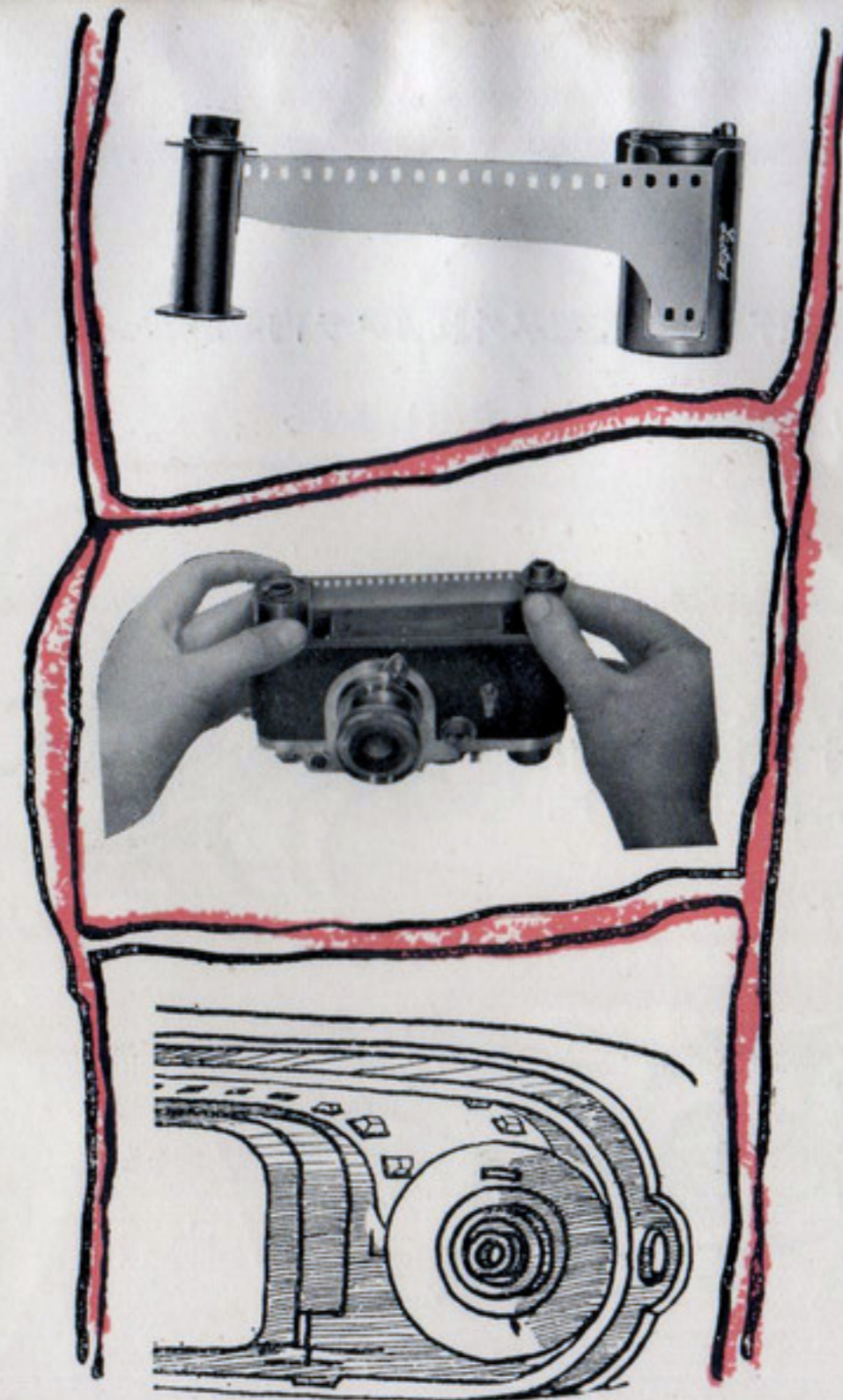
マガジンは外筒 A、内筒 B、スプール C の三部分からなつており、これを開くには安全バネ D を押しながら上部を右に廻しますと、A と B の窓が重つて大きく開きます。この位置で C をつまんで引出せば、B も共に抜け出します。スプールの軸には割目があり中には動く金具があります。巾の広く長い方がフィルムの挿入側です。閉ぢる時は、この反対に致します。即ち C を B に挿し込み AB の窓の重なる所で、B と C を A に挿し込み、これを左に廻し、パチンと音する所迄まわします。



マガジンをカメラに



1. スプールのバネの下にフィルムの端を膜面を上側にしてかたくさしこみます。そして図の様にもちカメラの中へ左右同時に装填します。マガジンが途中で入らない時は巻戻し釦を一寸まわしますと入るようになります。
2. 切換レバーが **A** 印の方に在ることを確め、シャッターを押してからカメラを逆さにしたまゝ巻取釦を巻上げてみます。
3. フィルムの耳孔がスプロケットによくかみ合っているかを確めます。
4. 底蓋の孔をボディの突起にかけてかぶせるとマガジンの安全バネを底蓋内側についている突起が外し開閉鍵を **CLOSE** にまわすに従つて、マガジンは中で開きます。



5. 巻戻釦を矢印の方に静かにまわしフィルムの弛みをなくします。
6. レンズキャップをしたまゝ、フィルムをまきあげシャッターを切りこれを二度くりかえすと感光していないフィルムが送られて来ます。
7. 露出枚数計を廻して矢印に **0** を合せます巻上釦をまわしても巻戻釦が廻転しない時はフィルムが送られていませんから巻もどしてフィルムを入れ直さねばなりません。

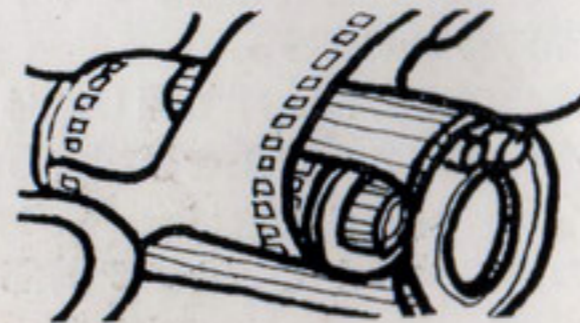
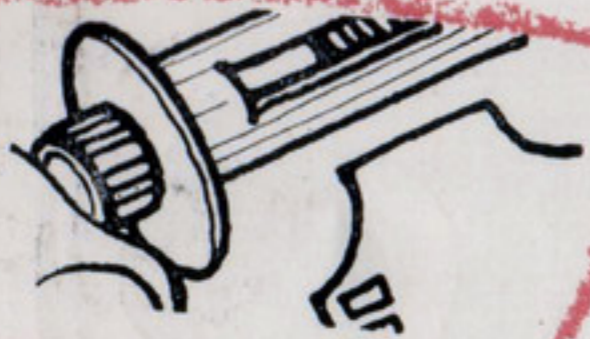
フィルムの装填法

底蓋の開閉鍵を**OPEN**の方に廻して引上げますと底蓋が外れカメラ内部が見えます。
左右にマガジンとスプールが入っておりますからそれを取り出します。

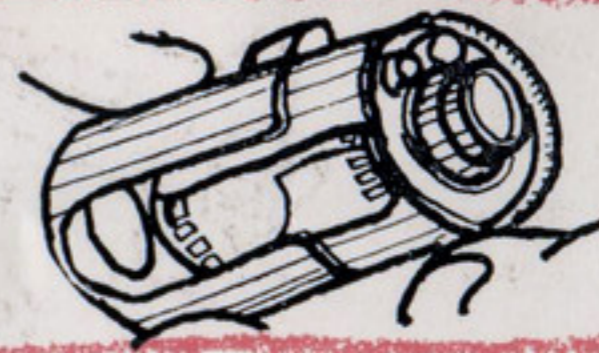
(イ)安全バネを押して右の方にスプールを廻しますと外筒と内筒の窓が合つて三つにわけられます。



(ロ)スプールを左手にもち必ずつまみを手前にむけます。フィルムのまいてある外側の方を手前にむけてV型に切つた方をスプールの挿入口からさしこみます。



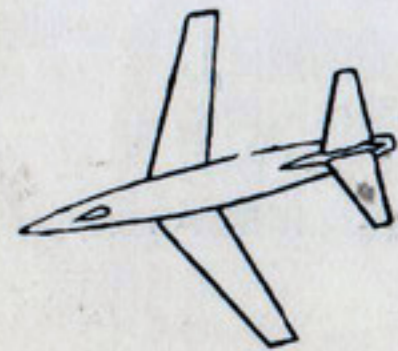
(ニ)まきおわりましたらつまみの方から内筒に挿入します。なるべくフィルムにはさわらない方がよろしいです。



(ホ)次に外筒に入れフィルム端を窓から少しひきだしたままつまみを左にカチンと云う所迄まわします。ここで電気をつけても大丈夫です。



(ハ)フィルムの膜面を内側にして堅く巻き、ゆるい時は内筒に入らないこともあり、あとからまきしめるとフィルム面に傷がつきます。



SHUTTER

レオタックス T型には、1/25—1/500秒の高速シャッターダイヤルと、1/15—T迄の低速シャッターダイヤルがあり、B(バルブ)は高速シャッターダイヤルに付いています。シャッター速度をきめるときは必ず、シャッターをまきあげてから指標にあわせませす。

高速シャッターを使う時には、上部のシャッターダイヤルを指先でつまみ上げて廻し、必要な目盛を指標に正しく合わせて元の高さに落とし込みます。高速度ダイヤル目盛を使用する時は必ず低速ダイヤルは25の所におきます。

低速シャッターを使用する時は、高速ダイヤルは必ず25—1の所にセットし、カメラ前部の低速ダイヤルを廻して、必要なスピードに合せませす。

低速シャッターダイヤルはクリック・ストップ式ですから目盛が止ります。レオタックスでは1—T迄は25目盛より左へ廻転し、1/15、1/10は右へ廻転してセットします。



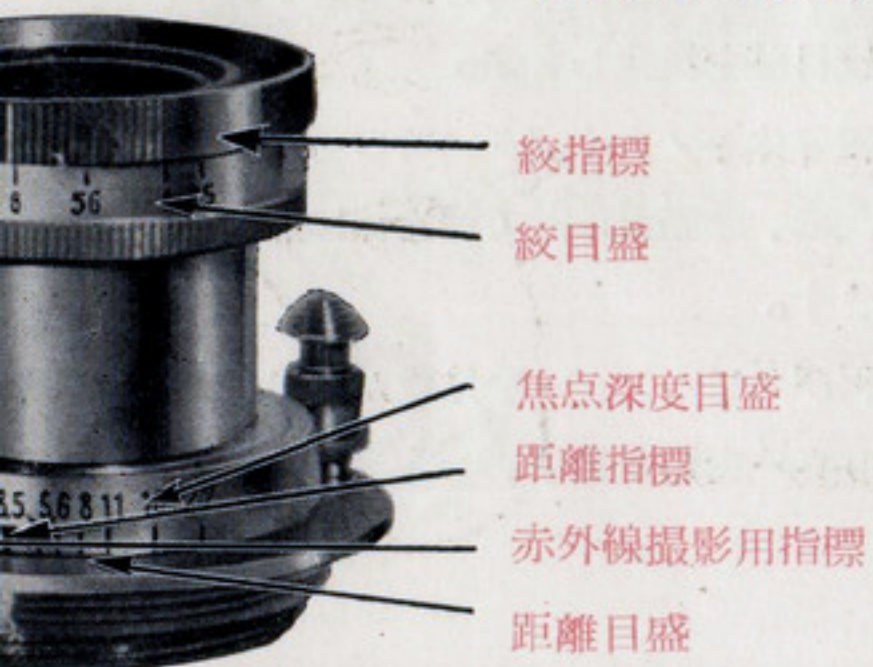
1. レンズキャップを外します。
2. ヘキサー f: 3.5 レンズは沈胴式ですからレンズを引出して右に廻し固定します。
3. フィルムを巻き上げませす。
4. シャッター速度をきめて、それに従い、**B. 1/25—1/500** 秒迄は高速シャッターダイヤルで合せ、**T. 1—1/15** 秒迄は低速シャッターダイヤルで合せませす。
5. 絞目盛を決定します。
6. 被写体をファインダーでのぞき、構図を決め、連動距離計で被写体に焦点を合せませす。
7. 再びファインダーを見ながら静かにシャッターを切ります。

BEFORE TAKING PICTURE

ヘキサ—50%F3.5 沈胴式レンズには図の様な目盛がついています。絞目盛は次の表の様な関係になつていて、シャッターと相俟つてカメラに入る光量を加減します。

絞　　り	3.5	4	5.6	8	11	16	22
露出の比	0.75	1	2	4	8	16	32

絞 8 で1/100秒の露出が適正とすれば絞を 5.6にした時は 1/200秒が適正であると云うように用います。絞はその外、被写界深度（焦点深度）を利用するのに用います。

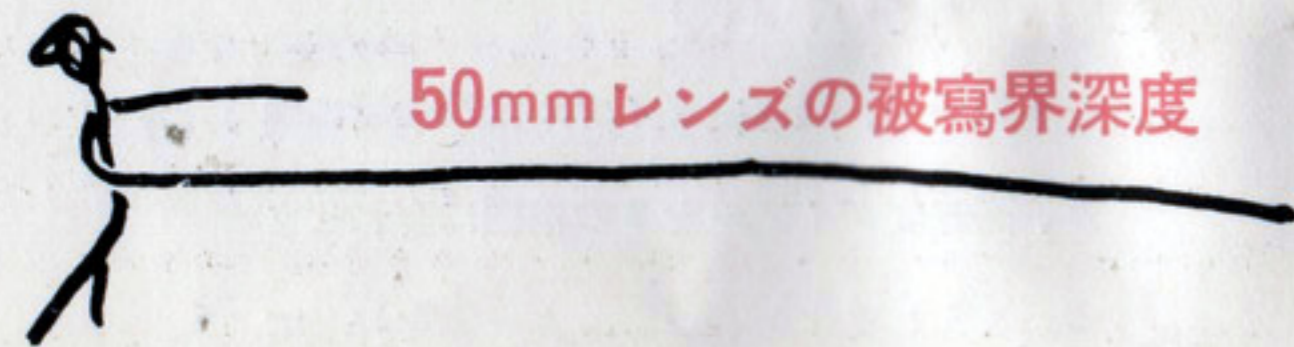


B. (バルブ) と T. (タイム)

Bの場合、低速度ダイヤルは25の所におき、高速度ダイヤルをBの指標に合わせます。こうしますと、シャッター釦を押している間だけシャッターは開いています。

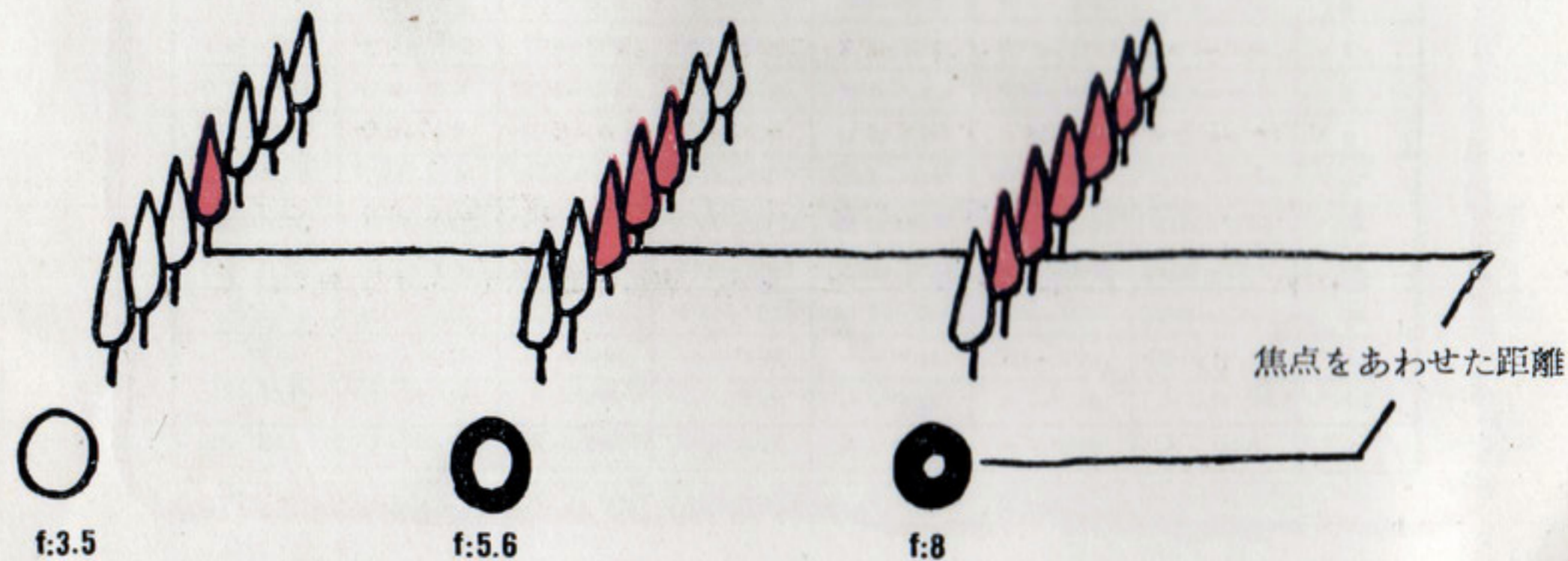
Tの場合、高速度ダイヤルは25—1の所におき、低速度のダイヤルを廻してTの所迄廻転させます。これでシャッターを切りますと、シャッターは開いたまま止ります。シャッターを閉ぢる時は、低速度ダイヤルを25の方に軽く戻します。Tは顕微鏡写真、天体写真、夜景写真等の長時間露出を必要とする場合に用います。





被写界深度とは、引伸し写真の差支えない僅かなボケを無視すれば、焦点を合わせた被写体より前後の或範囲は焦点が合っているということで、この範囲は絞を絞る程深くなります。之を利用して距離の違う被写体に同時に焦点をあわせたり、又不要のものをぼかしたり自由に選定致します。被写界深度はレンズの焦点距離によつて違います。焦点距離の短いもの程深く、長いもの程浅く、なります。

下図の左端はヘキサールズ解放で焦点を真中の木に合せた場合の焦点深度を色で表わしました。中央は焦点を同じ木にあわせ絞を 5.6 にした時の深度で、右端は同じく f:8 に絞つた場合です。図のように小絞な程深度は深くなりますが、この場合焦点を合わせた被写体より前方は後方に比べて浅い範囲になります。次頁の表をごらんになればわかります。しかし絞れば深度が深くなりピンボケの心配はなくなります、絞りすぎますとシャッター速度を遅くせねばなりませんのでカメラブレをおこしやすくなります。又同一絞でも距離の遠い程焦点深度が深くなることも次頁の表でおわかりになると思います。



Hexar 1:3.5 f=50mm 被寫界深度表 1cet目盛

許容錯亂円の直径を1/30mmとする

F.	1:3.5	1:4.0	1:5.6	1:8.0	1:11.0	1:16.0	1:22.0
3.5	3'4"~3'8"	3'4"~3'8"	3'4"~3'9"	3'3"~3'10"	3'1"~4'0"	3'0"~4'3"	2'10"~4'8"
4	3'10"~4'3"	3'10"~4'3"	3'9"~4'4"	3'7"~4'6"	3'6"~4'8"	3'4"~5'1"	3'1"~5'8"
4.5	4'3"~4'9"	4'3"~4'9"	4'2"~4'11"	4'0"~5'1"	3'10"~5'5"	3'8"~5'11"	3'5"~6'9"
5	4'9"~5'4"	4'8"~5'4"	4'7"~5'6"	4'5"~5'9"	4'3"~6'2"	3'11"~6'11"	3'8"~8'0"
5.5	5'2"~5'11"	5'1"~5'11"	5'0"~6'2"	4'10"~6'6"	4'7"~6'11"	4'3"~7'11"	3'11"~9'5"
6	5'8"~6'6"	5'7"~6'6"	5'5"~6'9"	5'2"~7'2"	4'11"~7'9"	4'6"~9'0"	4'2"~11'1"
7	6'6"~7'8"	6'5"~7'9"	6'2"~8'1"	5'10"~8'9"	5'6"~9'7"	5'1"~11'6"	4'7"~15'4"
8	7'3"~8'11"	7'2"~9'0"	6'11"~9'6"	6'7"~10'4"	6'1"~11'7"	5'6"~14'8"	5'0"~21'6"
9	8'1"~10'1"	8'0"~10'4"	7'7"~10'11"	7'2"~12'1"	6'8"~13'11"	6'0"~18'7"	5'4"~31'2"
10	8'11"~11'5"	8'9"~11'8"	8'4"~12'6"	7'10"~14'0"	7'2"~16'6"	6'5"~23'7"	5'8"~48'11"
12	10'5"~14'1"	10'2"~14'6"	9'8"~15'10"	8'11"~18'5"	8'2"~23'0"	7'2"~28'11"	6'2"~323'
15	12'7"~18'6"	12'4"~19'2"	11'6"~21'7"	10'5"~26'8"	9'5"~38'10"	8'1"~125'	6'11"~
25	18'11"~36'11"	18'4"~39'7"	16'6"~51'10"	14'5"~96'0"	12'6"~	10'2"~	8'5"~
50	30'4"~144'	28'8"~197'	24'6"~	20'2"~	16'6"~	12'8"~	10'0"~
100	43'5"~	40'1"~	32'5"~	25'2"~	19'8"~	14'6"~	11'0"~
~	76'2"~	66'8"~	47'8"~	33'5"~	24'5"~	16'10"~	12'4"~



焦点調節



距離計接眼レンズをのぞくと被写体の像が二重に見えますからレンズを廻転して一つに合致させます。そうすれば自動的に被写体に焦点が合っています。レオタックスの距離計は、ファインダーと別になつて、基線長、38.5%倍率1.5倍(実効基線長58%)のプリズム式ですから望遠レンズの135%に迄連動可能です。レンズは撮影レンズと同様ハードコーティングを施した明るい光学系を持つて居ります。

又距離計は前記被写界深度を利用する際、目的物の距離を正確に測る為にも用います。

赤外線撮影

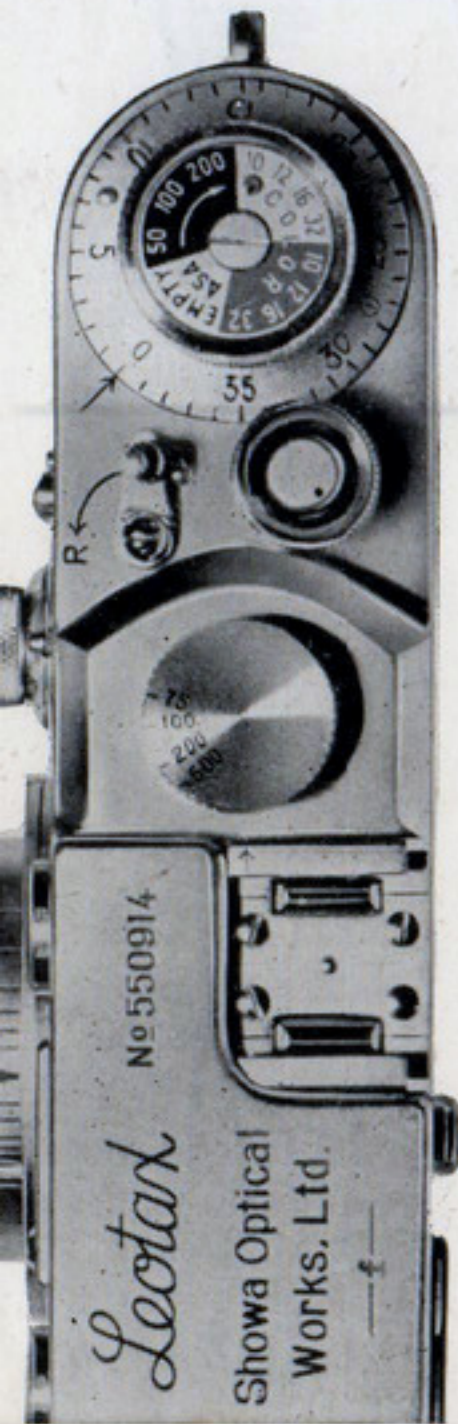
赤外フィルムと、赤外フィルターを使用することによつて赤外線写真が撮れます。この際、距離計で距離を合わせてからその目盛を被写界深度目盛中の赤い点の所迄ずらして合わせます。赤外線は不可視光線で普通焦点目盛とは屈折率の相違でずれが生じますので、そのずれを赤い点で匡正するわけです。



フィルム面指標

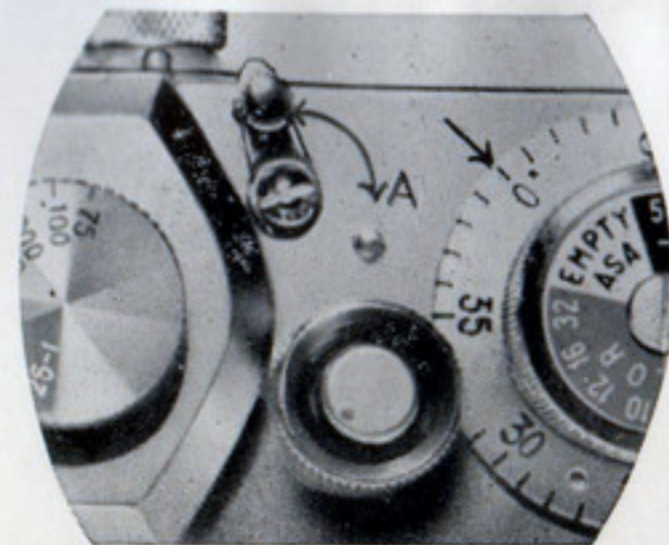
カメラのレンズに刻まれた距離目盛は、すべてカメラ内部に装填されたフィルム面を基準として測つてあります。近接撮影、複写、その他の便宜の為に、レオタックスではカバー上部に—f—のマークを刻みフィルム面を指示しています。



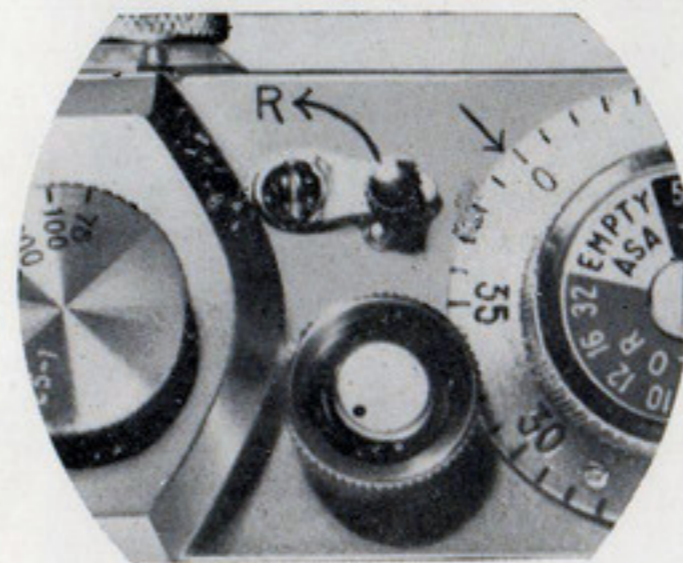


FILM INDICATOR

レオタックスカメラの上部にはフィルムインジケーターが装置されています。装填されたフィルムの種類とASA感度をメモしておくのに便利です。



フィルムのまきもどし



挿入フィルムの撮影枚数以上に枚数計が進むか、又は巻き上げ鉤が堅くなつて巻けなくなつた時は撮影が終了したのですから、フィルムを巻き戻してから取りだして現像するわけです。

まず切換レバーをAからR記号の方へ廻して、巻取鉤を引き上げ、矢印の方向に廻転するとマガジン内にフィルムが巻き戻されます。

この際レオタックスでは、フィルムが一駒巻き戻される毎に一度づつ音が致します。巻戻し枚数を数える必要のない時はリリース鉤を押しておけば音はしません。

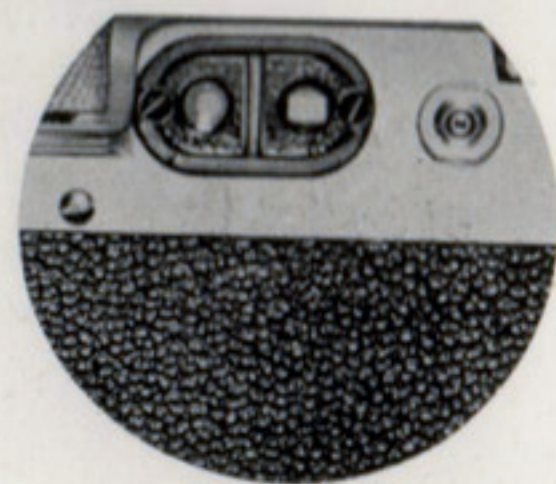
巻戻しが終ると、スプールに差込んだフィルムの前端によつて、巻戻しにくい堅い抵抗を感じますが、僅かに力を加えて巻戻します。空まわりを感じましたならば、切換レバーをAに戻し、底蓋を開きます。この時マガジンのしまる音を確認して底蓋を取ります。

フラッシュ撮影

レオタックスのフラッシュシンクロナイザーは、内部でシャッターの運動に同調するように装置してあります。外部に出ているシンクロ部分は、プラグと切換レバーです。シャッタースピードとバルブ、接点の組合せは必ず右記の通りに致します。

注意 高速度にはフォーカルプレーン用のF・P級閃光球を必ず使用していただきます

シャッター スピード	バルブ	接点
1/500~ 1/50	FP級 (フォーカルプレーン)	F
1/35~1/25	FP級 大型 中型	F
1/25	ストロボ FP級 小型 F級	X
1/15	M級	X



シンクロ操作法

先ずコードを用いて、ガンとカメラを接続致します。プラグへの取付けは、バヨネット式になつておりますから、外れることは絶対にありません。前記の表でシンクロ切換レバーを動かし、FX接点のどちらかに決定し、あとはバルブをガンに取付けて撮影すればシンクロ写真を撮る事が出来ます。



注 意

レオタックスのシンクロナイザーで、カメラ内部の回路テストの場合は、F接点ではシャッターダイヤルを軽くおさえてシャッターを切り、ダイヤルを指で廻してシャッターを落して行くとわかります。X接点の場合はシンクロ切換レバーをX位置にしてフィルムを巻き上げないでそのままリリースを押せばわかります。

何れもテスター又はガンにテストランプを取付けて行います。又逆に切換レバーをX位置にしたまま巻き上げる前にリリースを押すと発光致しますから注意して頂きます。バルブを取りつけたままフィルムを巻き上げても安全スイッチがついていますから、発光する心配はありません。



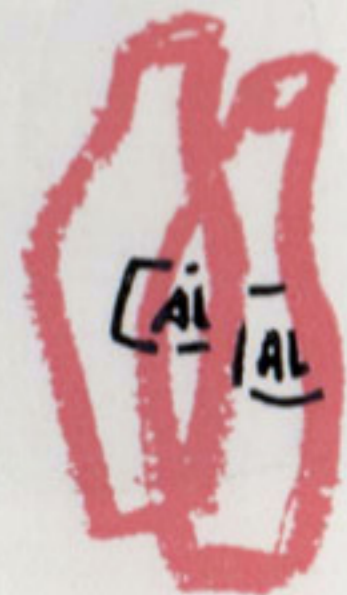
SELF-TIMER

セルフタイマーを使う時は、ライカ用の物を求めリリース釦とリリースカバーリングの間へ、ねぢ込み使用します。

押具合は、カメラにフィルムが入っていない時に、一度リリースを切り然も最後にきちんと戻る様にタイマーの尖を調節して固定しておきます。

二重又は多重撮影

レオタックスは、二重撮影が完全に防止されていますが、モンタージュ写真等の必要な場合はフィルムを巻上げず、ダイヤルをストップする迄逆転させ、これでリリースを再び押せば二重撮影が出来又これを繰返せば多重撮影も出来ます。

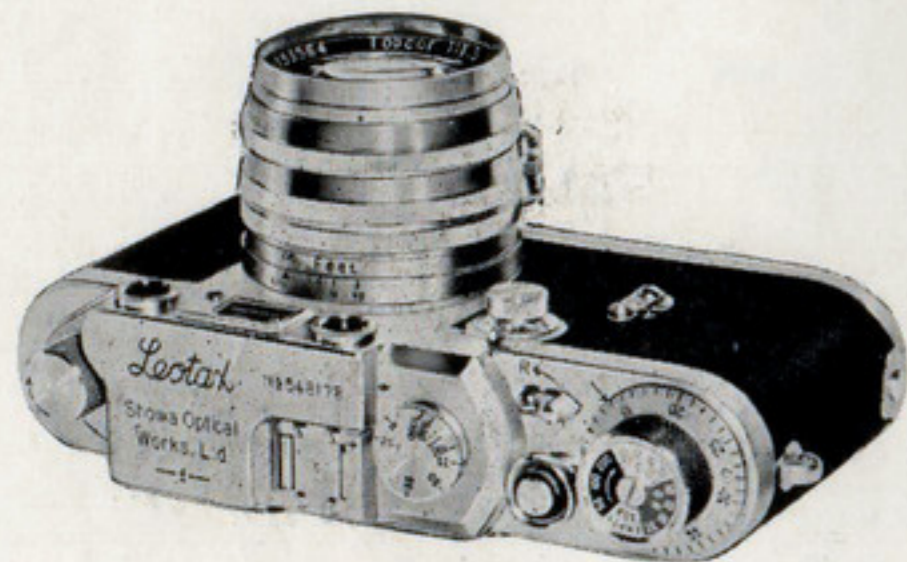


レオタックスF型

レオタックスF型は当社の家言である——豪華で実用的な——と云う言葉を実際に具現したカメラです。高い物ほど良い、舶来品はすべて良い、と云う言葉を決して否定は致しませんが、廉価な物、国産の物も、良心と誠意と努力があれば決して勝るとも劣りはしないと云う事も具現したカメラです。

サイズ 35ミリフィルム
(24×36ミリ) 36枚撮影
ボディ 軽金属ダイカストボディ
シャッター フォーカルプレイン
シャッター
(T、B、1、1/2、1/5、1/10
1/15、1/25、1/35、1/50、
1/75、1/100、1/200、1/500
1/1000秒)

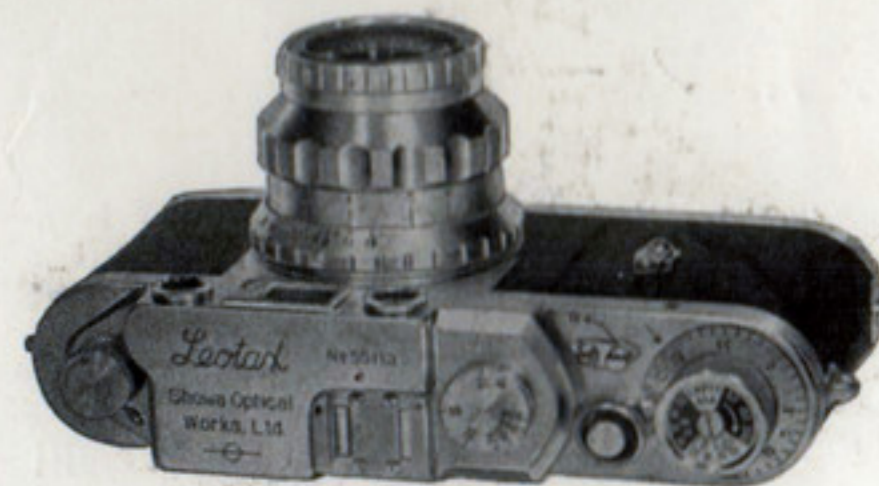
X. F. シンクロビルトイン
フィルムインデケーター付



低廉でしかも35ミリカメラの機能を十分に備えたカメラがあつたら、そして又、一台お持ちの方のもう一台あつたらとの御要望にお応えしてK型をつくりました。F型、T型の姉妹機として、レンズ交換の可能な、しかも正確なフォーカルプレインシャッターを備えたK型はきつと御満足を得られる事と存じます。中間速度のシャッター、1/35、1/75は特にカラー撮影に便利です。

ボディ 軽金属ダイカストボディ
サイズ 35ミリフィルム
(24×36ミリ) 36枚撮影
シャッター フォーカルプレイン
シャッター
(B、1/25、1/35、1/50、1/75、
1/100、1/200、1/500秒)
F. X シンクロビルトイン
フィルムインデケーター付

レオタックスK型



トコブリリアントファインダー



A



B

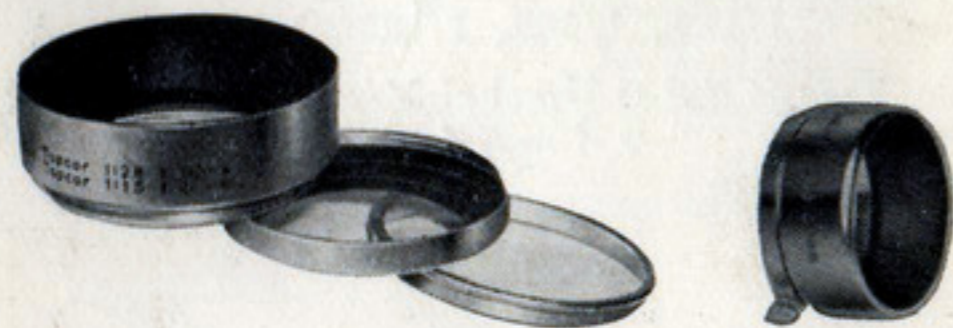
レンズが大口径になるに従い、フード、フィルターを
つけますと、ファインダーが非常に見にくくなります。
そこで考えられたものがこのアルバタファインダーで
す。一倍の大きさと明るい視野の中に(A)は50ミリ用、
35ミリ用のワクが、(B)は50ミリ用、90ミリ用、135ミ
リ用のワクがみえます。御使いになつてその便利さと
快適さに一驚なさると思います。

(A) 50ミリ、35ミリ用、
(B) 50ミリ、90ミリ、135ミリ用。

専用フード

現在レンズフードはアクセサリーと云うよりネ
セサリーと云われています。美しい作品をつくる
為に不必要な光線を除き、充分レンズのもつ性能
を生かします。

- ① 50ミリ f:1.5、50ミリ f:2、35ミリ f:2.8用
(皮ケース付)
- ② 50ミリ f:3.5用(革ケース付)
- ③ 135ミリ f:3.5用
- ④ 90ミリ f:3.5用



専用フィルター



レオタックスフィルターは、JIS, B, 7113 検査規格に
よつて種々の方面から検査測定したもので安心して使用
していただけるものと思います。

- F1.5用 Y1, Y2, R1, UV
F3.5用 UV, Y1, Y2, Y3, RO, R1, POO, POB
- ① 50ミリ f:1.5、50ミリ f:2、135ミリ f:3.5
35mm f2.8用
(シリーズVⅡ)
 - ② 50ミリ f:3.5用(1枚)
 - ③ 50ミリ f:3.5用(セット)(R0, Y2, UV)

交換レンズ及びレオタックス専用フード、フィルターなど詳細は
御しらせいたゞけばカタログ、価格表を御送り致します。

昭和光學精機株式會社

東京都葛飾區新宿町4-919 電話・葛飾(69)2543・3717

昭和光学精機株式会社

